

委員（**向山好一**） 私も 1 点だけ手短ですけども、今、ノロウイルスが猛威を振るってまして、我々の会派も 2 名が犠牲者出ました。非常にこんな時期に大変な事態になっているんですけども。そしてお医者さんに聞きましたら、ノロウイルスのワクチンというのはないということなんですね。だから、かかったら点滴を打って安静にしとかなければいけないということなんですけども。私が聞きたいのはその点じゃなくて、ワクチンがあるのがインフルエンザ、そして同じように風邪の症状であるインフルエンザを、やはりこういうふうにワクチンを打って予防するというのは、このノロウイルスのこともあって相当に普及していくと思うんですね。そこでお聞きしたいのは、インフルエンザのワクチンが 1 回 4,000 円という神戸市の価格が決まっています。この価格は他都市と比べてどうなのかということをお聞きしたいんです。兵庫県下、ほかの市町村も同じようにワクチンをやっていますけども、どのぐらいの価格でやっておられるかお聞きします。

中野保健福祉局健康部長 他都市でインフルエンザにつきましては、それぞれ単価もばらばらだと聞いております。実費で仕入価格に近いところでやっておられる方もありますし、それぞれの保険点数に近い形でやっています。そういう格差はございます。

委員（**向山好一**） 格差を認められていらっしゃるんで言いますけども、兵庫県下一番高いのは神戸市なんですね。他都市の平均は大体 2,500 円。それを云々は ですから医学的な見地でいろいろあるかと思えますから根拠はあるかもしれませんが、そういう実態があるということだけは認識していただいて、今後、本当にワクチン 今、ノロウイルスみたいな関連があって、市民の関心が高まっていくそういう動向をしっかり注視して、これはやっぱり 4 人家族が受けたら、他都市と比べたら相当の格差になっていくわけでありまして、そういうことを十分と認識して、市が、いわば公共料金みたいになっとるわけですから、その点はしっかりしていただきたいと思えますけど、その点ちょっとコメントがあればお聞きします。

中野保健福祉局健康部長 この件につきましては、我々も時々市民の方からお話を伺うことがございます。ただ、神戸市としましてはインフルエンザにつきましては、神戸市方式ということで、医師会、関係団体と一緒に、予防接種に関して仮に接種禍とかそういうのがあったら、一定の保障といたしますか、そういうふうなこともできるという形で皆さんと一緒に、それに参加をしている方については、この価格ですというふうな制度でしております。ちょっとその辺が十分ご説明、今できないんですけども、そういった状況の中で、今、神戸市としてはこの単価になっているということでございます。これは先生に対する弁明とかということではなしに、事実としてそういう形になっておりますということでございます。

以上でございます

委員（**向山好一**） 健康を楽しむまちづくりとか、神戸はそういう健康ということをも一つのキーワードとしてまちづくりをやっているわけですから、その健康を維持しようとする市民の思いを、やっぱりそういう面でも酌んでいただきたい。このことを要望して終わります。

以上です。